



会報

茨城県  
在宅保健師の会

第42号

令和4年1月発行

「日本人形」 作：久米郷子会員

新年のごあいさつ

茨城県在宅保健師の会 会長 照沼 美代子



あけましておめでとうございます。新年を迎え皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

一昨年来より、

新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」)による、まさかの世界情勢と昨今来、急速に拡大した第6波の到来に対し、昨年引き続き支援活動をしていただいている会員、地域で支援活動にご尽力されている関係各位の皆様にご敬意と感謝を申し上げます。

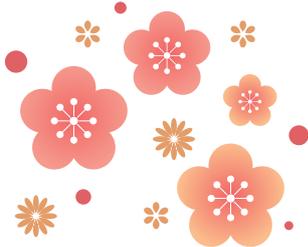
このような状況下にあっても、本会の活動は、各市町村が求める各種事業を支援することが出来ました。特に、対人保健サービス事業である保健指導は困難を極める事業ですが、社会情勢を勘案し一部未実施事業はありますが、事業は円滑に進捗しております。

昨年11月5日(金)に開催されました都道府県在宅保健師等会全国連絡会(以下「連絡会」)役員会(Web会議)の報告をさせていただきます。本会議は、平成18年9月28日に設置要綱が制定され、その要綱の目的に基づき実施されている会議です。国民健康保険中央会に連絡会が置かれ、都道府県に置かれている在宅保健師等の会(以下「在宅保健師等会」)の情報交換・連絡協議をすることを目的とし、集約した意見は、国保中央会を通じて国へ要望する仕組みに

なっています。構成組織は全国41都府県、3、633名の構成員数(令和3年7月1日現在)です。全国8ブロックから役員が選出され、本会が昨年10月より関東甲信静ブロックの役員として2年間就任することになりましたので会員の皆様にはご協力よろしくお願ひ申し上げます。なお、この度の会議で、会長は、東海北陸ブロック愛知県在宅保健師会「あいち」会長、副会長は、九州ブロック大分県在宅保健師等「虹の会」会長が選任されました。また、各在宅保健師等会の活動報告や高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(以下「一体的実施」)に向けた在宅保健師等会の支援等について協議しました。一体的実施については、在宅保健師等会においてフレイル状態に着目した疾病予防の取り組みを支援するなど事業の推進を図って頂きたいという旨のお願いが国保中央会からありました。本会も茨城県国民健康保険団体連合会と響動するため研鑽に努めたいと思います。

まさかのコロナ社会の中、会員一人ひとりが地域住民と「5つの行い(マスク・消毒(手洗い)・うがい・換気・検温・3つの戒め(三密))を守る対話をしながら人の輪を広める生活実践活動をしていただき穏やかな生活に戻れるように尽力する会として、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和四年一月吉日



### 都道府県在宅保健師等会 全国連絡会役員会の報告

都道府県に置かれている在宅保健師等の会（以下、「在宅保健師等会」）の情報交換、連絡協議を目的として、国民健康保険中央会（以下、「国保中央会」）に都道府県在宅保健師等会全国連絡会が設置されています。令和3年10月1日から、都道府県在宅保健師等会全国連絡会役員会の関東甲信静ブロック代表役員として、本県より照沼美代子会長が委嘱されました（任期は令和5年9月30日まで）。

そして、令和3年11月5日（金）に、都道府県在宅保健師等会全国連絡会役員会がWebにより開催されました。全国の都道府県在宅保健師等会の設置状況や、役員の所属する在宅保健師等会の活動状況の報告の他、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けた在宅保健師等会の支援や、全国連絡会の開催等について協議を行いました。令和3年度の都道府県在宅保健師等会全国連絡会は、令和4年1月下旬〜2月上旬頃、資料と説明動画を収録したDVDの配付という形で開催が決定されました。全国連絡会にて国の動向についての情報提供や他都府県（47都道府県のうち41都府県に設置）の在宅保健師等会の活動事例発表等がなされる予定です。全国の在宅保健師等会が、それぞれの所属する地域の健康づくりに尽力しております。さらなる活動の活性化と充実を図るべく、情報共有に努めてまいります。

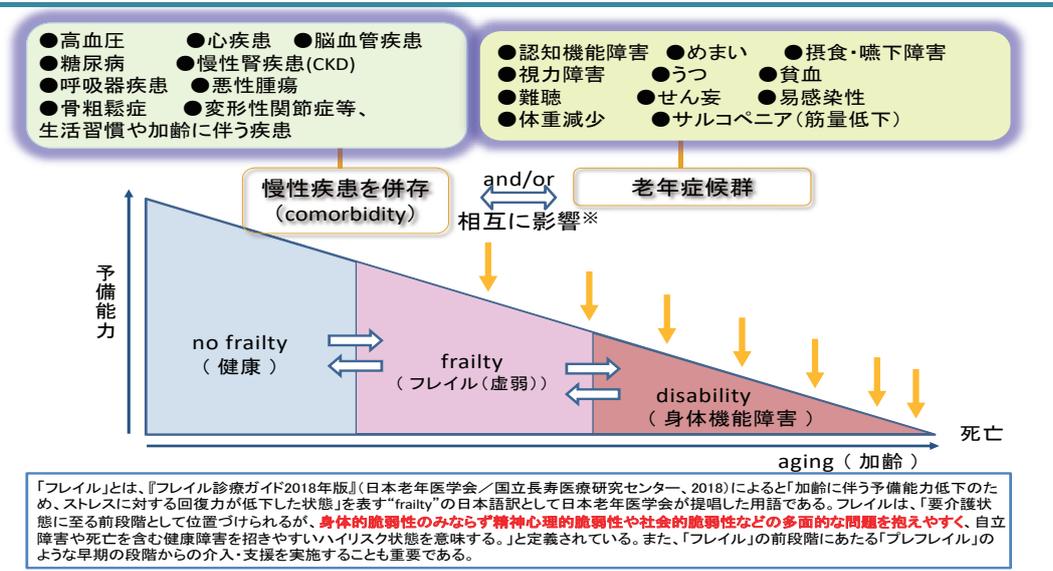


高齢者は加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下する「フレイル」の状態になりやすくなります。早期の段階からの介入・支援を実施することの必要性について示されています。

日本の総人口が減少に転じていく中、高齢者（特に75歳以上の後期高齢者）の占める割合は増加していき、二〇五五年には人口の4人に1人が75歳以上になると推計されています。このような中、高齢者が安心して暮らせる地域社会を支えるために、高齢者の特性に応じた保健事業を行うことが重要であると言えます。（図一）

## 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

### 高齢者の健康状態の特性等について



「フレイル」とは、『フレイル診療ガイド2018年版』（日本老年医学会／国立長寿医療研究センター、2018）によると「加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態」を表す「frailty」の日本語訳として日本老年医学会が提唱した用語である。フレイルは、「要介護状態に至る前段階として位置づけられるが、**身体的脆弱性のみならず精神心理的脆弱性や社会的脆弱性などの多面的な問題を抱えやすく**、自立障害や死亡を含む健康障害を招きやすいハイリスク状態を意味する。」と定義されている。また、「フレイル」の前段階にあたる「プレフレイル」のような早期の段階からの介入・支援を実施することも重要である。

\* 現時点では、慢性疾患とフレイルの関わりについて継続的に検証されている段階にあることに留意が必要。

図1 高齢者の健康状態の特性等について  
出典：高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第2版

日本の医療保険制度では、75歳になると後期高齢者医療制度の被保険者に異動することになっており、74歳までの保健事業と75歳以降の保健事業が適切に継続されてこなかったという課題がありました。介護予防を行う市町村、健診を行う広域連合とそれぞれが主体となって実施していたため、高齢者の健康状況や生活機能の課題に一体的に対応できていませんでした。(図2)

こうした課題に対して、保健事業や介護予防についてノウハウを持つ市町村がきめ細かな保健事業を実施できるように、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」という仕組みが整備されました。(図3)

この事業は令和2年度よりスタートし、令和6年度までに全市町村で展開することを目標としています。

保健事業と介護予防の現状と課題(イメージ)

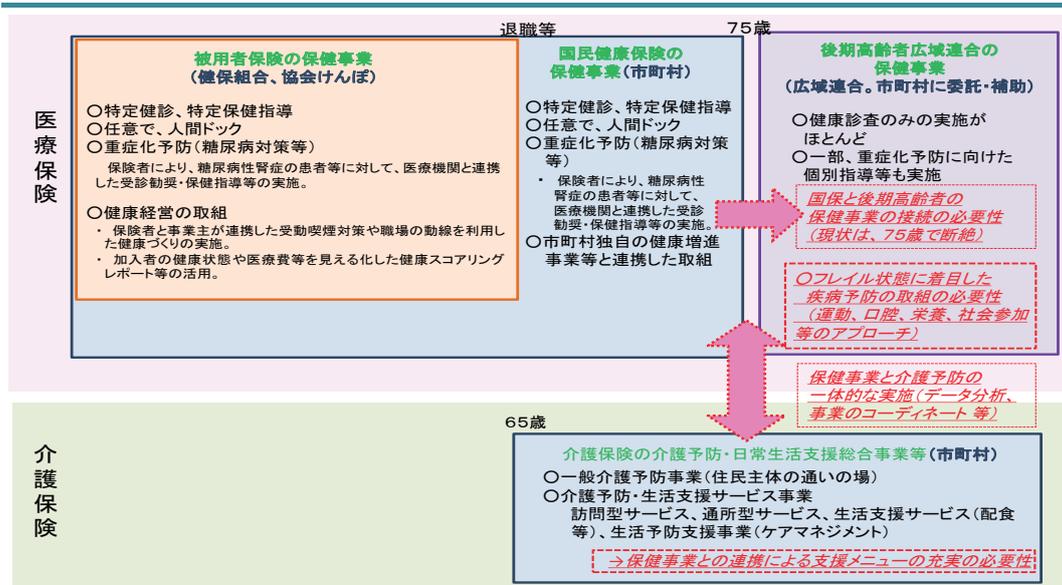


図2 保健事業と介護予防の現状と課題 (イメージ)

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 (市町村における実施のイメージ図)

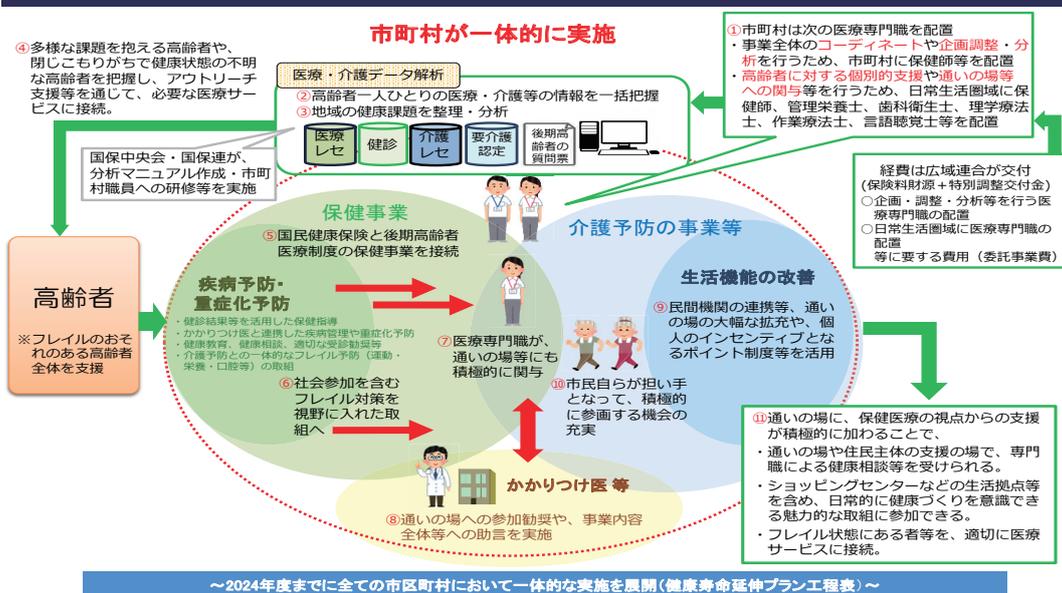


図3 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 (市町村における実施のイメージ図)

茨城県においては、44市町村のうち、令和2年度から6市町村がすでに実施しており、令和3年度から11市町村が事業を展開しております。全国には、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について在宅保健師等会が支援をしている都道府県もあります。

茨城県在宅保健師の会において、国保連合会をはじめ各関係機関と連携をとり、協力体制を整えることが今後必要になってくる可能性があります。

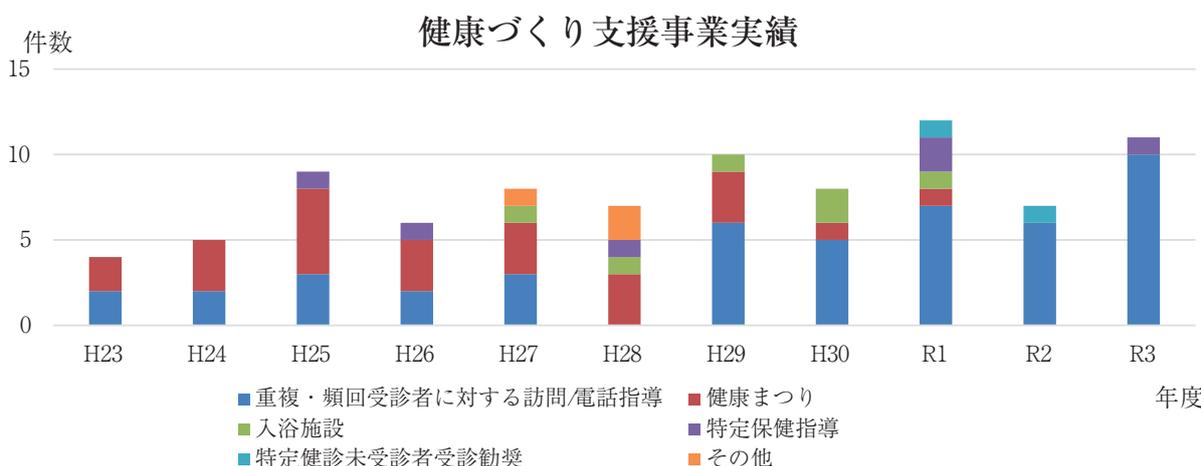
国の動向を注視しつつ、引き続き事務局より情報提供を行ってまいります。

## 令和3年度健康づくり支援事業 支援経過

令和3年度も多数の市町村より健康づくり支援事業の申請がありました。  
ご協力いただいた会員の皆様には、改めて厚くお礼申し上げます。

市町村	事業内容	支援時期	支援人数 / 対象者数
つくばみらい市	特定保健指導	6月～1月	30/30
つくば市	重複・頻回受診者に対する訪問指導	9月	11/20
古河市	重複・頻回受診者に対する電話指導	10月	14/21
笠間市	重複・頻回受診者に対する訪問指導	10月 11月	6/9
常陸太田市	重複・頻回受診者に対する訪問指導	11月	13/13
鉾田市	重複・頻回受診者に対する訪問指導	11月 12月	8/9
八千代町	重複・頻回受診者に対する訪問指導	1月 2月	支援未完了
桜川市	重複・頻回受診者に対する電話指導	12月 2月	
龍ヶ崎市	重複・頻回受診者に対する訪問指導	1月	
五霞町	重複・頻回受診者に対する電話指導	2月	
土浦市	重複・頻回受診者に対する電話指導	2月	

(令和4年1月現在)



新型コロナウイルス感染症による市町村での健康まつりの中止等の影響で、健康相談・健康教室関連の申請は、今年度はありませんでした。一方で、重複・頻回受診者に対する指導の支援の申請は近年増加傾向にあり、今年度も多数の申請がありました。また、感染対策のため、訪問指導ではなく電話指導をお願いしたいという市町村が増加しました(令和3年度重複・頻回受診者への指導申請のあった10件中、4件が電話での指導依頼)。全体の支援申請については、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響から減少しましたが、今年度は増加に転じました。協力してくださる会員の皆様には、市町村からの要望に柔軟な対応をしていただいております。市町村より感謝の声が寄せられております。

### ◆健康づくり支援事業の支援を受けた市町村からの声◆

在宅保健師さんや国保連合会の方と直接話をしていく中で、より具体的に訪問指導の方法や進め方を理解することができ、不安が解消されました。

在宅保健師の方に対象者の生活状況について詳しく聞き取りをしていただいたおかげで、それぞれの疾患やその原因、必要な支援などを把握することができました。今後の保健事業の参考にしたいです。



今回は、訪問による指導を検討しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、電話による指導となりました。対象者へ対面での指導はできませんでしたが、重複・頻回受診をしている状況を傾聴していただくことで、相手への安心感や信頼感を持たせて対応することができました。

受診状況だけでなく、体調面や生活面についての丁寧な聞き取りと、個々の症状に合わせた助言をしていただきました。自身の健康や受診について意識していただける機会になったと思います。

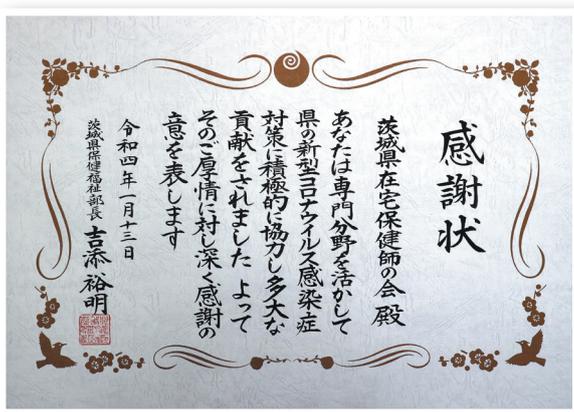
## 新型コロナウイルスに係る支援について

令和2年5月、県の要請を受け、協力の意を示した会員が「新型コロナウイルス感染症相談員」として採用され、保健所における新型コロナウイルス感染症対応業務について協力をしていただきました。

その後、令和2年10月に会員の皆様に新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所支援の協力者を再度募り、15名を支援協力者として新型コロナウイルス感染症に係る人材バンク（現在のIH EAT）に登録していただくよう国へ報告し、国を通じて県へも情報提供しました。

現在、茨城県在宅保健師の会及び茨城県国民健康保険団体連合会では、新型コロナウイルス感染症相談員としての保健所勤務及びIH EATについては関与しておらず情報を把握しておりません。現在、IH EAT事務局は一般財団法人日本公衆衛生協会に設置されています。しかし、新型コロナウイルス感染症相談員、IH EAT登録者、その他個別で市町村や保健所で新型コロナウイルス関連業務の支援をしている方など、多くの会員が各々のスキ

ルを發揮し、地域保健活動にご尽力されております。新型コロナウイルス感染症は、新たな変異株の登場など、未だ予断を許さない状況は続いておりますが、引き続き感染予防対策に努め、安心して皆様にお会いできる日が来ることを願っています。



新型コロナウイルス感染症対策への協力に対して県保健福祉部長より感謝状をいただきました。

# ひびき

新入会員さんの声



那珂市 石濱 淳子

はじめまして。那珂市在住の石濱と申します。

千葉県出身です。夫の転勤で茨城県に移住して8年目になります。今は5歳男の子と3歳女の子の育児に、日々悪戦苦闘中のアラフォー主婦です。

この度、娘の幼稚園入園を機に、仲間入りをさせていただきました。

コロナ禍において、保健師の方々は大変ご苦労されたことと思います。私も何かお手伝いが出来ないかと、機会を探していました。

いざ保健師の職を離れて久しく、今は家事育児に追われ、即戦力には至らないかもしれませんが、長い目で見守って頂けるとうれしいです。

会員の皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

## 会員の皆様へ 研修会のご案内

令和3年度

茨城県在宅保健師の会研修会

●日 時 令和4年3月10日(木)

10時00分～12時30分

●会 場 茨城県立歴史館 講堂

◆「人生100年時代どのように生き抜くか」(仮)

茨城県立歴史館 館長

山口 やちゑ 氏

◆「ケーナで癒しの音楽を」

ケーナ演奏家

中崎 恵幸 氏

参加をご希望の方は、郵送・FAX・メール等で3月2日(水)までに事務局あて申し込み願います。

※新型コロナウイルス感染症の状況次第ではやむを得ず中止とする場合がございますので、ご了承ください。

## 茨城県在宅保健師の会 会員募集のお知らせ

保健師としての知識や経験を活かして活動できる方を募集しています。

主な活動は、市町村から依頼された健康づくり支援事業への協力です。

活動に役立つ研修会への参加で、情報交換、仲間の皆さんとの交流もできます。

また、保健師の資格をお持ちの方がお近くにいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

お問い合わせ・お申込みは、随時、事務局にご連絡ください。

### 発行

茨城県在宅保健師の会事務局  
(茨城県国民健康保険団体連合会 保健事業課内)

〒310-0852  
茨城県水戸市笠原町978番26  
茨城県市町村会館 4階

電話 : 029-301-1553  
Fax : 029-301-1575  
Email : jigyou@ibaraki-kokuhoren.or.jp  
URL : https://www.ibaraki-kokuhoren.or.jp/zaitaku\_hoken\_kai

### 編集後記



寒さ厳しいこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨夏は爆発的な感染拡大を見せかけていた新型コロナウイルスもすっかり落ち着きをみせていましたが、新たな変異株の出現で未だ予断を許さない状況です。少しずつ感染が終息に向かい、コロナ禍以前の生活に戻ることを願うばかりです。

今年度もあと少しで終わりというところではありますが、令和3年度の研修会の開催が迫ってまいりました。久しぶりに皆様とお会いできることを事務局一同楽しみにしております。

(H・I)